

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンターあさひが丘			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～	2026年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2026年 12月 26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員・保育士に加え、公認心理師、言語聴覚士、理学療法士等のセラピストによるアドバイスをもらえる環境や職員間で訪問前のミーティングを行っているため、先生方にも受け入れやすいお話ができていないかと思えます。	・保育所等訪問支援実施前は、ケース担当者だけでなく、児童発達支援管理責任者も交えながら、お子さまの情報の整理を丁寧に行っています。	・まずは、先方様に私共の行っている療育や私たち自身のことを知っていただくことが第一かと思えます。療育参観等も積極的に行っていきながら、関係構築に努めていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問において、経験が豊富である職員とそうではない職員まで在籍しているため、訪問支援の力量には多少の差があると思えます。一定の水準で訪問支援を実施できるよう、日頃からお子さまの状態像をしっかりと把握できるよう、努めていきます。	・事業所数の拡大により、新卒職員、中途職員を多く採用しております。職員育成が途上段階であることが主な要因であると考えています。	・どの職員が支援をしても、お子さまへの支援が高い水準で達成できるよう、日々のミーティングやチーム会議で、お子さまの状態を深いレベルで考察できるように振り返りの機会を設け、また、自己研鑽、専門職からの助言等、職員自身が成長できる機会を作っていきます。
2			
3			